

教育委員会定例会議事録

令和7年10月21日 午後2時00分 開会

出席委員

教 育 長	大 江 孝 一
委 員	戸 莉 恵理子
委 員	佐 原 圭 子
委 員	山 田 清 志
委 員	池 田 洋 子

説明のための出席者

教育部長	高 橋 純 司
教育部次長	星 野 光 広
教育部次長兼学校教育課長	加 藤 正 明
教育部次長兼中央図書館長	坂 田 憲 美
庶務課課長	杉 浦 忠 彦
庶務課主幹	石 黒 友 作
生涯学習課長	渡 辺 寿 彦
スポーツ課長	二 村 崇
学校給食課長	吉 田 信
中央図書館主幹	渡 邊 里 恵

教育長が指定した事務局職員

主 事	山 崎 修
主 事	各 務 京 子

議事日程

- 第1 議事録署名委員の指名
- 第2 令和8年度教職員定期人事異動方針について
- 第3 令和6年度教育委員会事務の点検・評価報告書について

「大江教育長」 定刻になりましたので、ただ今から教育委員会を開会し、会議を開催します。はじめに日程第1「議事録署名委員の指定」を行います。本日の議事録署名委員は、教育長において、佐原・池田 両委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

「大江教育長」 続いて、日程第2、第16号議案「令和8年度教職員定期人事異動

方針について」を議題といたしますが、本案は職員の人事に関する案件となりますので、議事を非公開とし、会議内容の議事を別に記録することとしてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

「大江教育長」 異議なしと認め 第16号議案「令和8年度教職員定期人事異動方針について」は非公開といたします。

(以下、議事を非公開)

「大江教育長」 ここからは公開で行います。続きまして、日程第3、第17号議案「令和6年度教育委員会事務の点検・評価報告書について」を議題とします。事務局から説明をお願いします

「杉浦庶務課長」 第17号議案「令和6年度教育委員会事務の点検・評価報告書について」を資料に基づき説明。

「大江教育長」 只今の提案について、ご質疑がありましたらお願いします。

「山田委員」 評価と離れるかもしれませんが、意見を言わせていただきます。毎年ぎょぎょランドで行われていた作品展も今年度が最後という話を聞きました。教員の働き方改革との兼ね合いもあると思いますが、授業以外のイベントがどんどん減っていていることが気になります。工作展や音楽祭は、音楽や図工などのそれぞれの授業では賄いきれない部分を担っていた側面もあると思いますが、それがなくなってしまっただけで本当に大丈夫なのか、と少し不安に感じます。

「加藤教育部次長」 市全域でイベントを行うとなると、どうしても土日出勤となってしまいます。長年検討した結果、集散型はなくす、という方向になりました。ただし、なくすのは市内全体で集まって行うイベントについてのみですので、学校ごとに行う図工や音楽のイベントについては引き続き学校内で検討するように、と指示はしております。

「池田委員」 中央図書館にお聞きします。小学校4年生のプラネタリウム見学の時に体験会も併せて行ったということですが、何故5校だけだったのでしょうか。

「渡邊中央図書館主幹」 プラネタリウム見学会は全小学校で実施しています。そのうち、学校からの要望やバスの都合、また中央図書館の受け入れ体制などの条件が合致し、プラネタリウム見学と同日に図書館見学会を実施できた学校が5校という結果でした。

「池田委員」 図書館体験会について、学校以外からの申し込みはありますか。

「渡邊中央図書館主幹」 児童クラブからの申し込みや、民生委員や児童委員の研修のような場に出前講座として司書を派遣することもあります。

「佐原委員」 萩小学校について、点検評価委員からの評価及び意見に、『今後受け入れ側の在り方や、受け入れたことで発生した問題への対応』とあります。現時点で、対応が必要となるような問題は発生しているということでしょうか。

「加藤教育部次長」 現時点で何か問題が発生しているということではありません。今は特認校制度を利用した全児童が学校へ通えているという非常に良い状態です。しかし、今後課題を抱えた児童を受け入れることで、新たな問題が発生する可能性もあります。今後の状況を注視する必要がある、というご評価をいただいています。

「大江教育長」 先日、萩小学校の学校訪問を行った際、校長から「保護者全員を対象にしたアンケートではほぼ好意的な意見だった」と説明がありました。特認校制度で転入してきた保護者からも、萩地区の保護者からも好意的に受け止められているようです。現時点では、先生方や地域の協力のおかげで、非常に良い状態が維持できています。

しかし、やはり問題もあります。アンケートの中では、「特認校制度を利用して転入してきた多動気味な子に暴力を振るわれて困ってしまいます」という声もありました。また、PTAの問題であったり、保護者が迎えの時間を守れずに学校が困っていたり、という問題もちらほらと出始めているようです。そういったことがおそらく今後の危惧されることだと思います。

「佐原委員」 地元の学校に行けなかった子が、萩小学校では通うことが出来ているというのは、非常に喜ばしいことですね。

「大江教育長」 この良い状況が続くよう、引き続き学校と連携を図りながら状況を注視してまいります。

「山田委員」 教員の働き方改革について、目標指数の「時間外在校等時間が月45時間以内の教職員数の割合」を見ると、年々順調に上がってきています。目標値は100%なので至っていないといえはその通りですが、私としては、先生たちはよく頑張ってくれているなど感じています。

「大江教育長」 目標指数では月45時間となっていますが、それ以外にもう一つ、年間360時間という指数があります。国は平均30時間と設定し、それが今後の目標になるので、おそらく県もそれに準じることになるかと思えます。

「山田委員」 同じく学校教育課の事業で、学級運営支援員についてお聞きします。『雇用の問題から人員の確保は難しい』とありますがこれはどういう意味でしょうか。

「加藤教育部次長」 主に年収の壁の問題です。学校はもっと来て欲しい、もっといて欲しいとっていて、本人ももっと働けるけれども、扶養の範囲内で働くためには就労時間を制限しなければいけない、ということです。

「山田委員」 逆に、扶養から出てもいいから働きたいという場合は対応できますか。

「高橋部長」 全体の予算の範囲内であれば、多少は可能です。例えば年間130万円/人で予算を確保した場合、そのうち事情で103万円まで働けないという方がいらっしやれば、その分を働ける方をお願いすることは可能です。ただし、あくまで予算の範囲内での働き方になるため、学校や本人が希望する分だけ際限なくお願いすることは難しい状況です。

「大江教育長」 その他、ご質問なければ採決を行います。本案は原案の通り可決するというご異議はございませんでしょうか。

(異議なしの声)

「大江教育長」 異議なしと認め、日程第3、第17号議案「令和6年度教育委員会事務の点検・評価報告書について」は原案の通り可決されました。

「大江教育長」 本日の会議に付議されました案件は以上ですので、これで本委員会
は閉会といたします。

(午後2時55分 閉会)

この議事録は真正であることを認め、ここに署名する。

教 育 委 員

教 育 委 員